

2days race in 木祖村 2015

シニア テクニカルガイド(Ver.150223) :

大会特別規則を下記のように定める

第1章総則

1. 競技規則総則 この大会は特定上位選手を除いた選手に本格的なステージレース参加機会を提供すること、総合優勝選手を決めることを目的とする。本大会はUCI, JCF 競技規則およびペナルティースケールに従う。特別条項については大会特別規則を定める。追加及び修正情報を本HP上で発表することがある。

2. 競技規則の熟知 この大会に参加する選手、チーム役員は上記規則および、競技車両運行の慣例を熟知していることを前提としている。したがって、UCI,JCF 競技規則、本大会特別規則を知らないことはペナルティースケール適用除外の理由とならない。

3. 本大会は2015全日本選手権ロードレース出場資格付与大会である。(mod at 150223)

以下の通り参加資格が付与される。

エリート 個人総合全体で 10位以内

U-23 個人総合全体で 10位以内

ジュニア 個人総合全体で 10位以内

<http://jcf.or.jp/wp2012/wp-content/uploads/downloads/2015/02/AJRRshikaku150204.pdf>

第2章競技前まで

3. 参加資格

本大会参加資格を下記とする。

シニア :

JBCF 成績 ; UCI コンチネンタル登録チーム以外のチーム・選手

ただし、同時期開催の国際レースに出場していない選手

(例 : チームはTOJに参加したが、出場できなかった予備登録以下の選手 または
TOJに参加できなかった国内コンチネンタル登録チーム)

2015 JBCF 選手振り分け E 1以上の選手を想定している。

2015 JBCF 選手振り分け E 3の選手には水準が高すぎると想定。

学連成績 : 2014 学生個人ロードレース 3位以内を除く、学連登録選手
学生ロードシリーズポイントを 1 P 以上獲得していることが望ましい

海外選手 : 2015 年 3 月 10 日付け UCI ポイント 4 点未満の選手

未登録 : 主催者が認めた JCRC S, A クラスのシニア選手
2014 年の成績一覧を別途送付すること。

女子選手 : JCF 登録シニア選手で主催者の認めたもの

ジュニア : J C F 登録ジュニア選手で主催者に確認し主催者の認めたもの

(1997年/1998年生まれの選手、最大ギヤ7.93mを条件とします)

本大会においては、学連登録選手であっても、1997年生まれの選手はジュニア選手として最大ギヤ比の制限をかけます。

上記で構成する選手最低4名または最大5名、選手以外のスタッフ1名から3名のチーム。

総参加チーム数を3.5とする。

注意書き：走行技術が未熟、集団走行が不慣れな選手には危険です。

主催者はJBCF クラスタ E1 程度の技術実力を想定しています。

競技経験が浅い選手（2014 学生ロードシリーズポイントを持たない選手など）は危険防止のため参加を断念することを推奨します。

締め切り後ホームページに申し込み選手名簿を公表する。他チームの参加選手参加資格について疑義がある場合、2015年4月15日までにセクレタリーあてメール/書面で提出すること。（J C F 競技規則39条1項修正）

レースセクレタリー 田中 比呂喜 e-mail : entry@kisomura2days.com

3-1 ジョイントチーム

当該連盟登録メンバーが5名に達していないとき、以下を認める

1) よそのチームからメンバーをレンタルして選手5名+スタッフ1名のジョイントチームを作る。チームジャージは統一すること。パンツについてはレンタルした選手の元所属チームパンツの着用を認める。レンタルした選手はレンタル先チームマネージャーの指揮に従う。

2) 選手が不足しているチーム、所属するチームが見つからない個人は、セクレタリーに相談できる。相談期限は3月30日とする。

主催者側で地域を優先してジョイント先を紹介する。単独で参加した選手が怪我をした場合、まったく誰も支援できなくなるためである。同じ地域の選手で移動するほうが安全であるためである。

3-2 参加費、参加申込期限

参加費、参加申し込み期限、手続きを下記の様に確認する。参加費用は選手数に関係しない。

申込期限 2015年4月05日必着

選手名簿送付先

レースセクレタリー 田中 比呂喜 e-mail : entry@kisomura2days.com

セクレタリーあてE-mailにエクセル表添付して名簿を送付下さい。

この日付以降はレイトフィー5,000円/チームが加算されます。

正登録選手4-5名 予備登録選手2名

正登録役員1-3名 予備登録役員1名を登録できる。

ステージ1Aチーム内での出走順番を指定することが出来る。

チームジャージデジカメ画像（正面、右側）添付送付ください。

未登録選手については2日間有効の臨時選手登録を行います。事前のJCF登録を推奨します。

選手名簿様式他をホームページからダウンロード後必要事項を入力下さい。

2日目午前の残念レースは、2013年の事故を考慮して、チームスタッフの参加を認めません。

テクニカルガイド ジュニア御参照下さい。

残念レースは長野県インターハイ予選として開催されます。

4月10日から15日まで参加資格審査のため名簿をホームページで公開します。

他チーム参加資格について疑義がある場合、セクレタリー宛にメールください。

4月15日までに参加資格審査終了後、参加受付通知を4月16日までに送付する。

4月20日までに下記に現金書留で送付すること、または、指定口座に入金すること。

4月20日までに到着・入金のない場合、補欠チームの繰上げとする。

参加費用の中に宿泊費用は含まれていない。

シニアJCF登録選手のためのチーム 40,000円/チーム

JCF未登録選手1名につき4,000円の追加料金

計算例：JCF登録3名+未登録1名で参加申し込みする場合

40,000円/チーム + 4,000円/未登録 = 44,000円/チーム

主催者側で2日間有効の臨時登録を行います。

予めJCF選手登録をしてもらうことを強く推奨します

現金申込先 〒399-8501 北安曇郡松川村5724 小林秀一まで

振込先 八十二銀行大町支店(店番号485) 口座番号689 198

口座名 2days race in 木祖村実行委員会 事務局

申込締め切り後の選手役員の変更

選手、役員にかかわらず1名の変更につき3,000円とする。

実行委員会は申込締め切り後の選手役員の変更を拒否する権利を保持していることを確認する。

予備選手登録、予備役員登録制度を十分に活用することをレースディレクターは希望する。

3-3 参加日程

テクニカルガイド発表	2015年2月10日
主催者指定チーム発表	2015年2月10日
主催者指定チーム参加申し込み期限	2015年3月20日
ジョイント先募集申し込み期限	2015年3月30日
一般参加チーム参加申し込み期限	2015年4月05日(日)
参加名簿公開、参加資格審査開始	2015年4月10日
参加資格各審査終了	2015年4月15日
参加受付通知	2015年4月15日
現金送付・入金	2014年4月20日

3-4 参加申し込み順位

参加チーム総数を35とする。参加申し込みチームが35を超過したときには下記の順番で参加順位を決めて参加チーム総数を35とする場合がある。

同一母体から3番目以降のチームが参加する場合、下記1)～3)の基準で参加チームが決定した後、35に満たない場合にだけ、2)、3)の基準で参加できる。

同一母体から3番目以降のチームを参加させたい場合、通常の参加申し込みをしてください。参加申し込み名簿にその旨記載し、35チームになるまで参加申し込みを受け付けます。2012から申し込みの際、同一母体からの参加チーム順番の記載をお願いしています。

同一母体から参加するチームは別のチームと明らかに区別が付くジャージを着用下さい。区別が困難と判断したチームジャージには判別のためガムテープなどで判別のための操作を加える可能性があります。

1) 主催者指定チーム 5チーム

水野 恭兵 選手(2014年大会個人総合1位)を含むチーム

中井 路雅 選手(2014年大会個人総合2位)を含むチーム

鈴木 龍 選手(2014年大会個人総合3位)を含むチーム

金子 大介 選手(2014年大会ポイント賞)を含むチーム

Paul SALISBURY 選手(2014年大会O-40賞)を含むチーム

2) セクレタリーが受信した参加申込資料が揃った日付の早い順

3) 同日の場合、監督がJCF審判資格、コーチ資格を持つチーム

3-5 宿泊

2days race in 木祖村2015は木祖村のご協力で開催にこぎつけることが出来ました。2日間のステージレースでは、体力の回復が成績に大きく影響するとレースディレクターは信じております

安心して睡眠するために、観光協会経由で木祖村内に宿を求めることを強く勧めます。村内の宿は藪原地区、スキー場周辺の2箇所です。どちらも会場から車で10分ほどです。

観光協会を通して 2daysRace in 木祖村2015参加選手が、気持ちよく宿泊していただける村内の宿を紹介します。

宿泊予約の際には「2days race in 木祖村参加 静かに眠りたい」とおっしゃって下さい。

木祖村観光協会 0264-36-2543

<http://www.vill.kiso.nagano.jp/kankou/>

4. 競技日程

15.05.16 09:00-10:00 シニアライセンスコントロール、ゼッケン配布
(ゴールラインテントにて)

10:00-10:30 シニアチームマネージャーミーティング

(ゴールラインテントにて)

11:01ー シニアステージ 1a 第一走者出走
個人タイムトライアル 8.5 km 1分間隔 175名の場合
3 順目終了後 4 順目開始までに 10 分間の休憩を入れる。

14:05 最終選手出走

14:20 最終選手ゴール 直ちに表彰式

14:30-14:45 シニアステージ 1 b 出走サイン

(参加チーム数によりサイン、出走時刻に調整がある。)

15:00ー シニアロードレース 75 km (9km x 9 周 -6.5km ローリング)

17:10 先頭ゴール直ちに表彰式

17:25 最終選手ゴール直ちに交通規制解除。

18:51 日没予定時刻

15.05.17 08:00ー08:30 ジュニア+残念,ゼッケン配布、出走サイン

09:00ー ジュニア+残念個人ロードレース 72 km (9km x 8 周)

11:30-11:45 シニアステージ 2 出走サイン

12:00ー シニアステージ 2

個人ロードレース 120 km (9 km x 14 周 -6.5km ローリン

グ)

15:15 先頭ゴール

15:30 最終選手ゴール直ちに交通規制解除

5. 表彰、成績

区間順位、個人総合スプリント賞、個人総合時間賞、U-23 賞、O-40 賞とする。

5-1 リーダージャージ

個人総合時間

個人総合時間順位 1 位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。

リーダージャージは黄色単色とする。

総合スプリント賞

スプリント賞総合順位 1 位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。

リーダージャージは緑色単色とする。

U-23 賞

1993 年以降に生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する白色ジャージを着用する義務を負う。参加選手の年齢構成により基準年を変更する場合がある。

O-40 賞

1975 年以前生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する桃色ジャージ

を着用する義務を負う。

リーダージャージ着用順位は**個人総合時間、総合スプリント、年齢別ジャージ**の順とする。

チームジャージが各リーダージャージと類似している場合、チーム第2ジャージを着用するまたは、アームバンドを着用して、リーダージャージと判別が付くこと。

リーダージャージ胸部高さ22cmでチーム名／スポンサー名を表示できる。この表示の布はチームで用意すること。

表示用チーム名入り布

テクニカルガイドにある寸法で 許される範囲の表示内容で2枚用意下さい。

1枚目はリーダージャージに付けて出走します。

2枚目は表彰式で着用する新しいリーダージャージに付けておきます。

リーダージャージの枚数

ステージ1 B 終了時点ですべてのジャージを主催者に返還ください。

リーダージャージは主催者側で洗濯して翌日レースリーダーに渡します。

2日目に総合優勝した選手にリーダージャージを差し上げます。

2日目にリーダージャージを失った選手はジャージを主催者に返還下さい。

5-2 成績

5-2-1 個人タイムトライアル

個人完走時間にペナルティータイムを加えた時間の優劣で決定する。

完走時間は1/100まで計測する

スタートでフライングを犯した選手に対して、フライングした時間を秒単位に切り上げた時間の2倍をペナルティーとしてゴール通過時刻に加える。

途中事故により完走できなかった選手は失格とする。

ゴールレーン内でゴールラインを通過しなかった選手は、完走した最下位と同タイムを与える。

最下位のタイムが失格ライン（**先頭の120%**）以下の場合、ステージ1 Bへの出走を認めない。

5-2-2 集団スタートステージ

フィニッシュラインにおける成績とする。

アクチュアルスタート地点はダム堤体上、公式スタートから6.5km地点を予定している。

計時はアクチュアルスタートから開始する。

1秒単位で区間時間を与える。

同一集団とみなされた選手に対しては同一タイムを与える。

5-2-3 個人総合成績

個人総合成績は各ステージタイムからボーナスタイム、ペナルティータイムを加減したタイムの小さい順とする。

同タイムの場合、個人タイムトライアルにおいて記録した1/100秒単位を考慮する。

5-2-4 ボーナスタイム

ステージ1 b 8 1 k m (9km x 9周のうち6km ローリング)

7周回(63km)先頭通過上位3選手に対してボーナスタイム(3, 2, 1秒)を与える。

ゴール通過順位上位3選手に対してボーナスタイム(6, 4, 2秒)を与える

ステージ2 1 2 6 k m (9 k m x 14周のうち6km ローリング)

8周回(72km)、10周回(90km)、12周回(108km)通過時先頭通過上位3選手に対してボーナスタイム(3, 2, 1秒)を与える。

ゴール通過順位上位3選手に対してボーナスタイム(10, 6, 4秒)を与える

5-3 スプリント総合成績

スプリント成績はステージ1 A成績順及び1B,2ステージスプリントライン通過順に応じに下記の得点を与える。合計得点順に総合成績を与える。

同点の場合は勝ち数による。勝ち数が同じ場合はより最後に得点した選手を優位とする。

ステージ1B,2スプリントラインはダム堤体右岸よりダム管理所前とする。

ステージ1 a 2, 1点

ステージ1 b 2 4 k m、3 3 k m、4 2 k m、5 1 k m通過時

3. 2. 1点

ステージ2 2 4 k m、3 3 k m、4 2 k m、5 1 k m、6 0 k m通過時

3. 2. 1点

6. 本部、ライセンスコントロール、ゼッケン配布、マネージャーミーティング

6.1 本部は以下の通り開設する。

150515まで セクレタリー：田中 比呂喜 e-mail : entry@kisomura2days.com

150516 08:00-18:00 ゼネラルセクレタリー小林 090-1867-6706

正沢親水公園先

150517 08:00-18:00 ゼネラルセクレタリー小林 090-1867-6706

正沢親水公園先

6-2 シニア来場

6-2-1 一般情報

場所 ゴール地点 本部テント

駐車 チーム駐車配置図：チーム区域に駐車すること

日時 2015年5月16日

09:00-10:00 シニアライセンスコントロール、ゼッケン配布

10:00-10:30 シニアチームマネージャーミーティング

6-2-2 ライセンスコントロール

ライセンス又はJCF登録申請書控えの持参

(J C F 未登録の選手は身分年齢を証明するもの)

チームジャージ

(同一母体から参加する複数のチームジャージが類似しているとコミッセルが判断した場合、ガムテープなどで修整を加えることがある。)

テクニカルガイド3-2参加費にあるように 参加費用に差額を設けた。

J C F 登録選手は **2015 J C F 選手登録証又は登録申請書選手控え** を持参すること。

J C F 登録 (又は登録申請中であること) が証明できない選手を含むチームについては、登録が証明できない選手1名につき4,000円を新たに請求します。

JCF登録が証明された選手にはライセンス忘れとして3,000円を請求します。

主催者には選手が登録している車連に登録確認を行う権利がある事を確認します。

J C F 未登録選手はその場で J C F 臨時登録用紙に記入していただきます。

J C F 未登録選手は身分を証明するものを持参下さい。顔写真入りが好ましいです。

6-2-3 マネージャーミーティング

出席 チームマネージャー1名以上

議題 点呼

予備登録選手との入れ替え

特別規則説明 (補給、機材補給、賞典)

レース手順説明

キャラバンバナー配布：各チーム1台追走車両用バナー配布

フロントガラス上部 後部ガラス上部に貼り付けてください。

ティーム出走番号 (=待機場所を示す数字) のA4の紙

ボトル：長野県内の大会で回収したボトルを再利用します。

テクニカルガイド (修正がある場合)

各チーム、審判団は最新のテクニカルガイドをホームページから印刷持参下さい。

マネージャーミーティングでテクニカルガイド等公開済み資料は配布しません。

6-3 コースに関する情報

別掲載コース平面図、コースプロフィール、駐車場受付、トイレ位置図、個人タイムトライアルコース図、個人タイムトライアルスタート地点配置図、個人タイムトライアルゴール配置図、ロードレースコース図、選手受け付け用駐車場配置図、参照のこと。

独立行政法人水資源機構味噌川ダムに関する情報は下記を参照下さい。

<http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/index.html>

コースは画面左上からダム沿いに走行し、トンネルを抜けて、木曾川源流ふれあい館前を右折、ダム堤体上を走り、ダム管理事務所前でスプリント賞ラインを通過します。

コース上最も標高の高い絶景ポイントが今回のゴール地点と設定しています。

7 レース開始まで

7-1 ステージ1 a : 個人タイムトライアル

7-1-1 使用可能車両

本年度個人タイムトライアルコースにおいて難易度の高いカーブが設定されています。選手安全上の配慮から、全ての個人タイムトライアル選手について追走車両を義務づけます。

この追走車両は J C F 競技規則 8 4 条 8 項 (2) を適用しその車両高さを 1 . 6 m に制限しません。

選手+メカニックとドライバー+車両は以下のように組み合わせる。

コーナーの多いコースで事故が発生した場合、確実に処置を行うために、全選手に追走車両を確実に配置するための処置である。

各チームは (1 名の固定したドライバー+車両) の氏名+車両番号をセクレタリーに通知する。

レースディレクターは選手+メカニックとドライバー+車両の組み合わせを事前にチームに向けてメールにて通知する。

マネージャーミーティングにおいてレースディレクターは追走車両であることを示すバナーをマネージャーに渡す。マネージャーは該当する、他チームから提供を受ける車両フロントガラス、リヤガラスにこのバナーを張る。

各チームはチーム出走番号 (= 待機場所を示す数字) の A 4 の紙をフロントガラス左側、リヤガラス右側に貼り付けること。

ステージ 1 A 競技開始 10 分前 (1 0 : 5 0) には、スタート台後方のチームカー停車位置に車両を停車させること。メカニックは機材と一緒に乗車する権利がある。

メカニックは各チーム専属のものが提供を受けた車両に乗車するか、選手が交代でメカニックとしてこの車両に乗車する事が出来る。

随時審判員が追走車両に乗車する場合がある。乗車を拒否した場合、ペナルティーの対象となり得る。

7-1-2 パーキング

各チームゴール地点手前、補給箇所広場には 1 台の駐車を認めます。

この車両を個人タイムトライアル追走車両として黄色のキャラバンバナーを配付します。

フロントガラス上部、リアガラス左下側に見えるように貼り付けてください。

上記以外の車両はゴールライン通過 3 0 0 m 地点 (選手用 B 駐車場) 、補給所手前 3 0 0 m 地点 (追走車両駐停車場) に駐車できます。白色のキャラバンバナーをメールにて配付します。

水、トイレはふれあい館北側トイレ、ダム右岸ダム管理事務所付帯施設を使用ください。

7-1-3 出走確認

個人タイムトライアルステージでは出走サインは行わない。

出走時に機材、服装、ヘルメット検査を行う。

公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメットは使用不可。

使用機材について J C F 競技規則 1 6 条検査を行う場合がある。

<http://jcf.or.jp/files/downloads/2011/04/TECHNICAL-REGULATIONS-FOR-BICYCLES-ej.pdf>

*サドルの水平について

2011年12月20日UCI競技規則通知により、サドル角度の範囲が指定されました。

「サドル前部と後部の最高点を通過する面において、0.5度の許容誤差内で±2.5度以内であること」

ジュニア選手の最大ギヤ比を検査する場合がある。(7.93m)

フレームプレートについて

フレームプレートを固定する紐、カッターナイフ、ガムテープほかものについてはチーム準備とする。

ビデオはコース左側から撮影するので、数字が撮影可能なプレート取り付けとする。

フレームプレートの切断はペナルティーの対象とする。

フレームプレート固定のためのガムテープほかを持参下さい。

腰ゼッケン固定に両面着テープは使用しないこと。保管維持管理に多大な労力が必要になります。両

面着テープの使用はペナルティーの対象とします

7-1-4 集合・コースへの進入

7-1-4-1 コース内への進入用IDについて

釣りシーズンであり 釣り客車両との事故を防ぐために 下記の交通規制に協力されたい。

1) チームマネージャーはコース内への進入用IDをダッシュボード貼り付けてください。

警備担当者には 一般釣り客と競技関係者の区別がつかないため 識別する必要があるためです。

コース内に進入したい全てのチーム車両に貼り付けを御願います。

進入用IDはメールにて選手登録責任者に送付します。

選手、チーム役員で必要数印刷下さい。

2) 進入用IDの追加発行

交通規制は木祖村の皆さんのボランティアで行っております。交通規制ボランティアの負担を小さくするために以下の処置を行います。

- ・ 進入用IDの無い車両がコースへの進入を希望する場合、コース警備ボランティアは本部小林先生に確認を取る。
- ・ 参加チームである場合、再発行手数料2,000円/枚を支払うことを条件に、進入用IDを現地でチームに授与する。
- ・ チームマネージャーはライセンスコントロール時に再発行手数料をセクレタリーに支払うこと。
- ・ 参加者証明は1台の車両に対して1枚とする。したがって、複数の車両で参加者証明が必要な場合、必要台数×2,000円の再発行手数料が必要になることを 予め告知する。

3) 出来る限り、交通規制開始時刻以前、以後に車両進入させてください。

交通規制開始時刻以後 5月16日10:50分以降 最終選手の通告まで(17時45分を予定)

5月17日08:50分以降 ジュニア最終選手通過通告まで

(11時:05分予想)

11:50分以降 ステージ最終選手通過通告まで

(15時40分予定)

にコースに進入することは、**2015年大会では安全管理上禁止します。**

COM1. 2車両フロントガラスに残り周回数が表示される。

交通規制時間以外で入場する場合も、必ず コース進入用IDをダッシュボードに貼り付けてください。

あまりに、ボランティア警備の方の手を煩わせるようになると、以下の可能性が発生します。

1. あまりに面倒なボランティアのため 警備ボランティアが集まらなくて 試合開催不能
2. 審判員を専用に貼り付ける場合、人員増加分の経費を、賞金を削ることで生み出す。
3. 運営に支障をきたすことになるので 罰金をチームに要求することになる。

どうか、自主的に 地元の皆さんに負担にならない運営に協力下さい。

7-1-4-2 ステージa：個人タイムトライアル

スタート地点に出走時刻の5分前までに所在すること

追走車両は出走時刻の10分前までに所定の隊列位置に駐車すること。

所定の対列位置は路面に表示され、HPに掲載される。

7-1-5 個人タイムトライアルステージにおける脚きり

集団スタート区間での競走の安全のために、個人タイムトライアルステージにおいて脚きりを行う。

1位の選手に対して120%以上遅れた選手は、失格とする。

失格となった選手は、日曜日には残念レースに参加申し込みして出場することが出来る。(参加費無料)

7-2 ステージ1b、ステージ2：集団スタートステージ

7-2-1 出走サイン

出走時刻の30分前から15分前までチーム全員そろって

	競技開始		出走サイン	サイン場所
150516	15:00-	シニアロードレース	14:30-14:45	ゴール地点
(参加チーム数によりサイン、出走時刻を早める場合がある)				
150517	09:00-	ジュニアロードレース	08:00-08:45	ゴール地点
	12:00-	シニアロードレース	11:30-11:45	ゴール地点

集団スタートステージの出走サインはチーム単位で、本部テント前机で4箇所設置する。

スタート前選手のサインはチーム毎まとまってサインしていただきます。

選手は出走できる態勢でサインを行うこと

出走サイン時にヘルメット検査を行う。

公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメット使用を審判団は禁止する権利がある。

使用機材についてJCF競技規則16条検査を行う場合がある。

7-2-2 集合

スタートライン後方の集合エリアに競技開始10分前までに集合すること

ステージ1bでは個人総合成績上位10名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。

その後方はステージ1aタイム30秒ごと下記のグループに分けた出走位置とする。

公式発表が遅れた場合、自主申告を認める。

成績による位置確認を行う場合がある、不正が確認された場合、最後尾に移動すること。

- 1)12分30秒00より良いタイムの選手
- 2)12分30秒01から13分00秒00までの選手
- 3)13分00秒01から13分30秒00までの選手
- 4)13分30秒01から14分00秒00までの選手
- 5)14分00秒01から14分30秒00までの選手
- 6)14分30秒01以下のタイムの選手

ステージ2では個人総合成績上位10名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。

8 競技

8-1 ステージ1 a：個人タイムトライアル

8-1-1 スタート

スタータのカウントダウンによる1分間隔スタートとする。

手動計時とする。

第三順と第四順の選手の間に10分間の休憩を入れる。

8-1-2 競技

JCF競技個人タイムトライアル競技規則に従う。

追走車両はJCF競技規則87条18から20項を尊重すること。

報告事項があるメカニック・同乗者は直ちにセクレタリーに報告すること。

事故などで競走を中断した場合、本部通過時にフィニッシュジャッジに報告すること。

指定範囲でゴールを通過した選手のみを計時対象とする。

暫定成績上位3選手を随時発表する。

対象上位3選手はチャンピオンチェアで表彰式をお待ちください。

最終選手ゴール後直ちにチャンピオンチェアから表彰式を行う。

8-2 ステージ1 b、ステージ2：集団出走ステージ

8-2-1 スタート

スタート後のローリング区間はスタート後約6kmダム堰堤まで行う。

2011年トンネル内の大量落車に対応した処置である。

正式競技開始はコミッセル2の緑旗によって指示される。

8-2-2 食料補給

シニア

ステージ1 Bで6周回終了（走行距離54km）、ゴール手前直線区間で走路左側より認める。

ステージ2で7周回終了（走行距離63km）、ゴール手前直線区間で走路左側より認める。

補給するスタッフは道路にでないこと。

補給を受けたい選手が走路左側に進路を変更すること。

ラインのロードレースの補給を考慮して、今回補給は各ステージ1回だけとする。

上記以外の補給は規則外の補給(ペナルティースケール24項20 SF=2, 800円)に相当する。

8-2-3 非常用給水

選手を脱水症状から守るために、共通機材車1、2にボトルを非常用として積載する。

非常用給水が必要な選手は共通機材車1、共通機材車2まで下がって補給を受けること。

共通機材車1、2のボトル本数は20本を目標とする。

非常用給水は規則外の補給(ペナルティースケール24項20 SF=2, 800円)に相当する。

8-2-4 ゴミ捨てについて

1)奥木曾湖は中京圏の大切な水がめです。綺麗な環境を維持することに協力下さい。

2)ゼリー等食料残滓は野生動物が里に降りてくる原因になります。

3)皆さんの賞金を削らない限り、主催者ではゴミ拾いの費用負担をすることが出来ません。

上記理由より、下記の特別競技規則を通告する。

選手はゴール手前(500~100m)のチームスタッフに対して ゴミを投げ渡すこと。

ゴミはチームで回収して持ち帰ってください。

ゴール手前以外の区間でゴミを投棄した場合 1回につき3000円のペナルティとする。

このペナルティに関しては 抗議を認めない。

皆さん方の自主的な協力で 綺麗な環境、効率よい経費を実現させてください

8-2-5 機材補給

共通機材車2台が機材補給を行う。審判車3は共通機材車をかねる

先頭集団のために共通機材車2が機材支援する。

大集団に対して共通機材車1、3が機材支援する。

機材補給を受ける選手は走路左端に停車すること。

スタートゴール直線左側のみでチームスタッフからの機材補給を受けることができる。

ニュートラル周回は認めない。

共通機材はシマノ11速および10速の車輪のみを供給する

8-2-6 失格

先頭から遅れ、周回遅れと見込まれた選手は周回遅れとしてフィニッシュジャッジの判断で排除する。

目安は以下であるが、フィニッシュジャッジが周回時間を勘案して決定する。

ステージ1 B 6周回(54km)まで 先頭から7分遅れ

7周回(63km)以降 先頭から9分遅れ

ステージ2 6周回(54km)まで 先頭から7分遅れ

7周回(63km)以降 先頭から9分遅れ

2011年大会においてレース初期の周回遅れ選手が先頭集団管理に影響を与えたための処置である。

失格は赤旗によって指示される。

周回遅れになって直ちに競技を停止した周回遅れ選手は記録される。
コミッセルの指示を無視して走行を続けた選手は記録されない。

大量の周回遅れ失格選手が発生した場合、チーフコミッセルは特定周回以降の失格選手に対してペナルティータイムを与えた上で翌日の競走に参加を認めることができる。

この処理は翌朝公表のコミュニケで発表される。

ジュニア+残念レース（コンソレーション）

1日目に失格となったシニア選手とジュニア選手で2日目午前9：00からジュニアのレースを行う。

1日目に失格となったシニア選手の残念レース参加費は無料とする。

日曜日8：00から8：30までの間にエントリー、支払いを受け付ける。

8-2-7 走路上での失格、棄権

走路上で機材故障、事故、落車等により競技を中止する選手、周回遅れ失格を通知された選手は原則自走で本部まで帰ること。

ジャージを裏返す、ゼッケンを外すなどして、競走から排除されたことを示すこと。

失格後、ゼッケンを装着したまま走行した場合、ペナルティーの対象となる。

自走できない選手はサグワゴンに申し出ること。

サグワゴンは選手、自転車を2回以上に分けて本部まで運搬する。

8-2-8 サグワゴンによる観客輸送

サグワゴンはスプリントポイント付近からゴールライン付近まで観客を輸送することがある。

本部に緊急に落車選手を輸送する必要がでた場合、観客に協力をお願いします。

8-2-9 その他注意

- ・低体温症：2011年大会において低体温症を発症した選手がいた。
標高の高い会場で雨にぬれた競走の経験が無いためと思われる。
選手は冷たい雨の中でも練習をして、どのような服装をするとよいか研究すること。
- ・サングラス：2011年大会においてトンネル内で大量落車が発生した。
以下に注意して欲しい。
 - *レースディレクターは道路管理者に全ての照明が点灯するか確認する。
 - *全ての照明が点灯した場合、競技規則を満足する照度である。
 - *選手はトンネル内部で前が十分見えるサングラスを着用すること。
半透明から透明のサングラスを推奨する。

9. 表彰、賞品配布

表彰担当が身柄拘束します。表彰式までチャンピオンチェアーでお待ち下さい。

ステージ1A：最終選手ゴール後直ちに行います。

上位3名のみ直ちに表彰です。

1位にはリーダージャージを渡します。

上位3名の表彰　小花束+リーダージャージ+シャンペン1

ステージ1B 開始前：U-23 賞 O-40 賞

ステージ1 b : 先頭選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位3名のみ直ちに表彰です。

U-23 賞 リーダージャージ白

O-40 賞 リーダージャージ桃

スプリント総合賞1位 リーダージャージ+シャンパン

総合1位の表彰 リーダージャージ+シャンパン

ステージ2 : 先頭選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位3名のみ直ちに表彰です。

小花束+シャンパン1

U-23 賞 リーダージャージ白

O-40 賞 リーダージャージ桃

スプリント総合賞1-3位

中花束+リーダージャージ+シャンパン3

総合1-3位の表彰 大花束+リーダージャージ+シャンパン3

ゴール上位3名を対象にゴール直後本部前付近で表彰式を行う。

この式典に欠席した選手はペナルティーの対象となる。

賞金金額は別紙賞金表による。

賞金は賞金対象選手所属監督指定口座に5月末前後までに振り込まれる。

賞品の配布は下記の通りとする。

シニア賞品配布目標時間 : 16:00-16:30分まで

配布場所: 本部にてサイン後

ステージ1aまでのコミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。

ステージ1bまでのコミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。

ステージ2までのコミュニケは現場本部付近に張り出す。

10. ゼッケン回収

チームマネージャーはゼッケン、フレームプレート、TTプレートを全競技終了後60分以内にチーム毎受領したケースに全て収めて返還すること。選手個別での返還は受け付けない。

ゼッケン、フレームプレート、TTプレートを返還しない場合ペナルティーの対象とします。

使い捨てゼッケンを導入する場合、選手の賞金金額を減額せざるを得ません。主催者は出来る限り選手を支援したいと考えています。御理解と御協力を求めます。

共通機材と交換した車輪等を競技終了後本部付近共通機材車にて返還します。

11. 供託金

本大会において供託金は5,000円とする。

本大会において1SFを140円(≒136.94円1月26日)として計算する。

12 医療施設

県立木曽病院 木曽郡木曽福島町6613-4 コースから20分

0264-22-2703

<http://www.pref.nagano.jp/xeisei/kisohosp/>

当日救急医が会場において応急処置のみを行う。

13.コミッセールパネル

レースディレクター／チーフコミッセール 藤森 信行

コミッセール2

コミッセール3

フィニッシュジャッジ 小林 秀一

ゼネラルセクレタリー 小林 秀一

セクレタリー 田中 比呂喜

以下決定次第順次発表

14.このテクニカルガイドの対する追加情報、質問は下記のホームページ参照のこと

2days race in 木祖村 公式ホームページ kisomura2days.com

15.修正経歴

150223 第1章3. 全日本選手権ロード参加資格を追記